

平成20年度 事業評価書

地 域 名	青森県鱒ヶ沢町	選定年度	H17年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	鱒ヶ沢町エコ推進協議会				
モデル事業名	創エネで豊かな暮らしを実現する環境保全型地域経営事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H17年度	調査事業として、省エネ住宅の普及による環境保全と住宅関連産業の活性化に資するためのアクションプランを策定。また、グリーン商品の購入を勧めるためのポイント制度導入システムを設計。 普及啓発事業として、地域住民を対象とした省エネルギー・自然エネルギーセミナーを開催。
		H18年度	調査事業として、地域資源マップ作成調査を実施。また、普及啓発事業として、住民を対象とした省資源・省エネに関するセミナーを開催。
		H19年度	普及啓発事業として、省エネ、まちづくりに関するセミナーを開催した。
	事業終了後	平成20年度	事業期間終了後のため、事業は実施していない。
交付金事業	事業期間	H17年度	一般家庭への薪・ペレットストーブ導入事業(公募型助成事業)として、一般家庭に薪・ペレットストーブを導入。 また、チップボイラー導入事業として、アユ種苗生産施設にチップボイラーを導入。
		H18年度	チップ製造設備整備事業として、チップパー、薪・チップ貯蔵施設、炭化装置を導入。 チップボイラー導入事業として、ケアハウスにチップボイラーを導入。 一般家庭への薪・ペレットストーブ導入事業(公募型助成事業)として、一般家庭に薪・ペレットストーブを導入。
		H19年度	一般家庭への薪・ペレットストーブ導入事業(公募型助成事業)として、一般家庭に薪・ペレットストーブを導入。
	事業終了後	平成20年度	事業期間終了後のため、事業は実施していない。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	農村モデルとして、農業における未利用バイオマス資源を有効活用した薪・ペレットストーブ、チップボイラー導入事業等を実施。特に鱒ヶ沢町の基幹産業である農林業においてこれまで廃棄物として処理または利用されていなかったりんご剪定枝等をチップ化し、チップボイラー等に利用する事業は地域のバイオマス資源を有効利用する取組でありモデル性がある。	
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考
	目 標 値	1,630 H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	638.1 H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績 (目標値・実績値単位:t-CO2/年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・薪・ペレットストーブ導入事業 昨年度に比較し、CO2削減効果は下がっているが、これは暖冬による影響と思われる。 ・チップボイラー導入事業 二酸化炭素削減目標値にほぼ達しているが、前年度より低い達成率である。ペレットストーブ導入事業と同様、暖冬の影響で燃料消費が予想以上に少なかったためと推測される。 	
③経済活性化効果	<ul style="list-style-type: none"> ・薪・ペレットストーブ導入事業 維持管理・運用効果として、灯油代替による燃料費節約のほか、薪・ペレットの販売により効果を得ることができている。 ・チップボイラー導入事業 維持管理・運用効果として、灯油・A重油の代替による燃料費節約のほか、チップ燃料や原木(りんご剪定枝)販売による効果を得ることが出来ている。 	

地 域 名	青森県鱒ヶ沢町	選定年度	H17年度	事業規模	小規模事業
④その他					